

1 書写

夏季指導者講習会では、元熊本大学教授の森山先生を講師として迎え、基本的筆使いや文化展題材の練習を中心とした実技講習を行いました。昨年度から「午前コース」「午後コース」「一日コース」を設け、より先生方のニーズに応じた講習会になるようにしています。

18名の受講者からは、今後の児童生徒への指導に生かしていきたいとの感想を数多くいただきました。

文化展については、今年度から小学校の教科書が変わり、文化展題材も変更になりましたが、先生方のご協力のおかげで計画通り実施することができました。天草郡市一括審査では、退職された校長先生方も含め11名の審査員で審査を行いました。優秀賞となった作品には、書き込みの跡が見える素晴らしい作品が多くありました。児童生徒の頑張り先生方の熱心な指導に感謝いたします。

また、毛筆作品において全体的にきれいに裏打ちがなされており、先生方のご理解とご協力のおかげでさらに見栄えのよい作品に仕上がっていました。裏打ちの仕方については、毎年、夏季指導者講習会でも講習を行っていますのでぜひご参加ください。硬筆部門において、消しゴム使用や二度書きがありましたので、要項の確認と指導の徹底をお願いします。

2 描画展

(1) 描画展全体

今年度も各学校から出品された作品を一堂に集め、複数の審査員により各学年30点を選出するという方法で審査を行った。各部会の負担が軽減されることや複数の審査員の協議による審査のため、選出の傾向が偏りにくいことなどが利点である。しかし、直接、審査評やアドバイスなどを伝えることができなくなったことは課題である。また、今年度も名簿と作品の名前の違いなどがあった。提出する前に各学校で十分な確認をお願いしたい。

(2) 小学校審査講評

【低学年】

1年生の作品は、動きがあり生き生きと描かれている力作ぞろいでレベルが高かった。低学年では、主題をはっきりさせるため、輪郭線を工夫して印象を強くしたり、単調な色合いは重ね塗りの技法などを効果的に使って仕上げていくとよいと思う。

【中学年】

人物画では、肌の色がきれいな作品や全体的に明るい作品が多かったが、中にはにごっているものや朱色がつよすぎるものがあった。朱色をベースに混色を工夫していくと良いと思う。人物などのゼッケンの名前などはあまり目立たない方がよい。人はどうしても文字に目がいってしまうので、本当に見せたい部分が弱くなってしまう。

【高学年】

高学年は構図もよく色の彩色も美しかったが、やや色が薄い作品があり、塗り込みをもっとおこなうと完成度が上がると思う。高学年の風景画は、身のまわりに広がる日常の景色が好ましいので、実際に屋外に出て地域をまわり、普段と違う視点で風景を見ていくといろんな発見や感動があり、絵にも深みが出てくると思う。

【全 体】

3年生はリコーダー、5年生は船など、学年によって題材に偏りがあった。ある程度、題材に幅をもたせ、児童に描きたいもの選ばせていくとよいと思う。過去の作品を参考にしすぎたり、指導法を重視しすぎると、どうしても偏りがでて、のびのびと描けなか

ったりする。できるだけ児童の自由な発想や見方を大切にしながら指導をおこなって欲しい。また、構図やポーズ、テーマなどが似てしまうと、どうしても審査でその作品どうしを比較することになる。絵の具の金色、銀色は発色が違って異質な感じがする。また、アクリル絵の具は乾くと水にとけない性質があるため、筆やパレットで色が固まったり、洗い出しの技法が使えないなど使用法や技法が難しいため使用しない方が良い。買う時や使用する際、気をつけて欲しい。

(3) 中学校審査講評

【1 年】

身近な風景を題材を選び、対象をしっかり見つめることにより、光や影、自然物や人工物の違いに気づき、誠実に表現した作品が多かった。また、作品全体から素直に描きたいものや感じたことを表現しようとする姿勢を感じる事ができた。

【2 年】

透明技法を用い遠近感がよく出ている作品が多くあったが、全体的に描きこみがあれば質の高さに繋がったと思う。また、自画像が増え、表面的でなく自己の内面に向き合う魅力を感じる作品も多くあった。

【3 年】

制作意欲を強く感じる作品が多く、さすが3年生を感じた。独自の主題性があり粘り強く描き込み完成度も高かった。単に見たものを描くのではなく、感じたものを描く質の高い作品が多くあった。

3 壁新聞

今年度は小学校32点・中学校10点の応募がありました。制作に時間のかかる壁新聞に取り組んでいただき、たいへんありがたく思います。事前の調べ学習、体験活動を生かして壁新聞という形式にまとめることで、子どもたちの情報活用能力の育成が図られたことと思います。しかし、学年が上がるにつれて子どもの自主性に任せて仕上げられていると思われる作品がありました。「指導者の助言のあり方が、子どもたちの力を引き出す鍵である。」と、実感しています。コンクールの結果をお知らせした際、「審査評」に具体的に示しています。次年度の参考にしていいただければ幸いです。

4 特別支援学級作品展

特別支援学級の作品展は、今年度も一人一点（または共同製作）の出品で、ほぼすべての児童・生徒の作品を展示することができました。作品の内容も、先生方の指導工夫のおかげで児童生徒のよさが光った作品ばかりで、保護者にも大変好評でした。何よりたくさんの方に見ていただいたことで、児童生徒の自信となりましたし、合わせて特別支援学級に対する理解と啓発ができたのではないかと思います。今年度も、昨年度より児童生徒数が増えたため、作品や作品票の大きさを規定させてもらいましたが、先生方のご理解とご協力のおかげで、出品されたすべての作品を展示することができました。年々児童生徒数が増加しているので、来年度も展示スペースを考えた作品等の検討をしていきたいと思っています。なお、作品返却の際には、児童文化担当の先生方にご協力いただき、ありがとうございました。

5 天草郡市科学展・発明工夫展

○良かった点

- ・ 科学展・発明工夫展ともに、多くの出品があつてよかった。取り組んだ作品数は、天草管内の小中学校で3000点あまりと科学研究への高い意欲が感じられた。
- ・ クラス全体での取り組みや特別支援学級からの出品など様々な取り組みの形がありよかった。
- ・ 本年度から各学校の出品制限を設けた。運営上制限数は適切であつた。
- ・ 前年度から継続した研究をしている学校もあり、内容的に深まりがあつた。今後も継続してさらに研究を深めてほしい。
- ・ テーマ設定に対して広がりが見られた。身の回りの生活からヒントを得たものや地域の自然などをテーマにしているものがありよかった。(トマトの湯むき、ザリガニなど)
- ・ インターネットで調べるだけで終わらずに自分なりの工夫を加えて研究を深めている作品が見られた。
- ・ 中学校の作品の質が、例年よりも高かった。

○課題

- ・ 夏休みの宿題等に取り組んでいる学校が多いと思う。できるだけ1校につき1点以上の出品ができるとよい。
- ・ 小学校低学年の出品が少なかった。生活科の学習の一環として取組みを期待したい。
- ・ 中学校の出品作品がもう少し多いとよかった。各学校での積極的な取組みを期待したい。
- ・ 出品作品に資料がないものが多かった。また、実験回数が少なく再現性に疑問が残るものもあつたので、データの蓄積を行い、資料として提出することで説得力が増すと思われる。
- ・ それぞれの地域の生き物や自然等に目を向け、地域の特色を生かした研究をさらに増やしてもらいたい。
- ・ まとめ方を工夫するとさらによくなる作品が多かった。特に野帳に記録するもの、広用紙に書くべきものを整理して記述することが必要である。
- ・ 提出の規格に合わない用紙を使用した作品が多少見られた。
- ・ 作品のタイトルと提出名簿が一致していないものがみられた。
- ・ 今年度から天草市は支部審査がなくなったため、出品の仕方などでやや混乱がみられた。今年度の反省を踏まえて、来年度以降スムーズに行くように出品システムを検討していきたい。

来年度も、多くの児童生徒のみなさんの作品が出品されることを期待しています。

平成27年度 第75回熊本県科学研究物展示会 入賞者

賞	作品名	学校名	学年	研究者名（敬称略）
熊日ジュニア 科学賞	手野のため池にすむザリガニのひみつ	本渡北小	3	萩原 泰成
優賞	トマトの湯むきを成功する方法	亀川小	5	山口 紗羅
熊日ジュニア 科学賞	地震に強い家を建てるには？	本渡北小	6	酒井 優綺
優賞	DNAをとり出す研究2	瀬戸小	6	那須 茉生
優賞	くるくる回って長く飛べ！パート3	上小	6	園田 響己
熊日ジュニア 科学賞	燃料電池の研究2	本渡中	2	久保 佑太 山下 瑞貴 石山 史也 濱 俊太
優賞	炎色反応を利用した混色の研究3	河浦中	3	大田 漢世新 丸山 巧
良賞	風鈴の羽の形と音の数の研究	浦和小	4	河内 あさひ
良賞	枝豆を育ててしゅうかくをしてみよう	瀬戸小	5	近藤 公香
良賞	「天草の地形と地層」の調査研究	稜南中	2	栗原 由妃乃 他23名
良賞	手作りスピーカーの性能比較	倉岳中	2	宮崎 大耀 中村 文人
良賞	コヒーラで、どこまで信号を伝えられるか？	天草中	3	塚本 龍世 方尾 和希
良賞	天草陶石の粉を焼き物にできるか？	天草中	3	上鶴 翔人 高見 佳史
良賞	結露0目指せ！快適空間	松島中	3	小崎 陸 松岡 実玖 大島 優海

平成27年度 第50回熊本県発明工夫展 入賞者

賞	作品名	学校名	学年	研究者名（敬称略）
優賞	目もりだけでOK！！便利なパレット	本渡北小	6	松原 世界
TKU 賞	自助スプーン	本渡中	1	作田 真也
優賞	UD表裏一体回転板	本渡中	2	川上 顕新
熊本県教育 委員会賞	お袋ちゃん	牛深中	2	野中 華和
RKK 賞	楽ちん！ホースストッパー	苓北中	1	寺岡 海

平成 2 7 年度 学校賞

(県の科学展および県の発明工夫展に出展された回数が 5 の倍数になった学校)

学校名	出品回数
天草市立本渡中学校	5 0
天草市立本渡北小学校	4 0
上天草市立松島中学校	1 0

平成 2 7 年度 天草郡市科学展・発明工夫展に取り組んだ生徒数 ○科学展取組人数

・小学校

学年	第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年	第 4 学年	第 5 学年	第 6 学年	合計
取組人数	6	9	5 1 9	6 2 2	7 5 9	8 0 7	2 7 2 2

・中学校

	分野別取り組み人数				合計
分野	物理	化学	生物	地学	
第 1 学年	1 3 1	1 0 5	8 2	2 3	3 4 1
第 2 学年	9 6	2 4 5	7 1	1 6	4 2 8
第 3 学年	4 3	3 5	4 7	1 1	1 3 6
合計	2 7 0	3 8 5	2 0 0	5 0	9 0 5

○発明工夫展出品点数

	小学校	中学校	合計
出品点数	1 6	4 0 1	4 1 7

※夏休みに、自由研究か発明に取り組んだ生徒の人数です

6 中学校英語発表会

- (1) 期日 平成27年10月6日(火)
(2) 会場 天草市立稜南中学校(体育館)
(3) 結果

【1 年】 出場校20校

○ 最優秀賞(2組)

田口 莉久	長嶋 大翔	吉本 凌	(本 渡)
尾上 愛美	瀬濱 華帆		(龍ヶ岳)

○ 優秀賞(6組)

磯田 実里	濱口 智和		(大矢野)
原田 彩乃	森本あかり		(栖 本)
加納 佳恵	山田 貴絵		(天 草)
田中 鍊也	宮下 千里		(姫 戸)
喜多 優喜	長濱 勇氣		(五 和)
柴田 晋平	柴田 菜央		(有 明)

【2 年】 出場校20校

○ 最優秀賞(2組)

石炭希良里	中坂 彩花		(龍ヶ岳)
石原 有華	徳田 朱音	園田 資優	(栖 本)

○ 優秀賞(5組)

碓 怜依奈	川本 恋		(姫 戸)
大塚 真優	倉田 桃加		(本 渡)
城下 練人	松尾 優		(河 浦)
有田 りこ	田中 梨紗		(苓 北)
桑野 玲奈	田中 愛泉	濱 あい	(稜 南)

【3 年】 出場校21校

○ 最優秀賞(2組)

岩下由依加	鹿釜 遼夏		(姫 戸)
河内 陽香			(本 渡)

○ 優秀賞(5組)

迫田 玲雅	平山 尚		(新 和)
熊谷 友紀	桁山 美幸		(天 草)
葉山 理奈	谷口 磨世		(倉 岳)
大田漢世新	吉田 優花		(河 浦)
畑中 龍星	大下 真晴		(牛 深)

【学 校 賞】(2校) 姫戸中学校, 本渡中学校

(4) 反 省

天草郡市21校全ての学校の代表生徒(135名)の参加があり, 日本人指導者やALTの先生方の熱心なご指導のおかげで, 感情表現に創意工夫が見られました。県大会においては, 3学年とも上位3位までに入賞することができました。

また, 本年度の司会進行として, 御所浦中学校3年生の村上愛佑美さん, 河浦中学校3年生の大西雅人さんに協力していただきました。来賓の方々, 審査員の先生方, 指導していただいた先生方及び会場校である稜南中学校には大変お世話になりました。

7 郡市音楽会等

(1) 反省及び展望

本年度は部門別研修会と天草郡市小中学校音楽会の二つの行事を企画しましたが、部門別研修が台風接近の影響で延期となり、音楽会のみ実施しています。

62回目となった郡市音楽会は、11月12日(木)～11月13日(金)の2日間、五和中学校を会場として実施しました。市民センターの改修工事のための会場変更や出場校数の大幅増など例年とは大きく違う形での開催となりましたが、会場校の先生方をはじめ各支部・部会・児童文化部長の先生方のご支援・ご協力によりまして無事に終了することができました。関係各位のご支援、ご厚情に深く感謝申し上げます。長い歴史と伝統を持つ本音楽会ですが、出場各校が十分に練習の成果を発揮して素晴らしい演奏ができていたと思います。来年度以降の児童生徒の更なる飛躍を期待させる内容でした。特に招待演奏での出演となった本渡南小学校と本渡中学校の両吹奏楽部(団)は技術・表現の両面ともに素晴らしく、全国レベルの演奏に接する貴重な機会となりました。反省点としては、バスや保護者駐車場に関する留意事項の周知不足や、役員の人手不足がありますが、駐車場に関しては市民センターの工事が終了する来年度にはある程度解決できると思われます。その他の点についても改善できるように努力をしてまいります。なお、部門別研修は熊本大学准教授、山崎浩隆先生を講師にお招きし、改めて2月末に実施の予定です。

(2) 入賞関係

熊本県吹奏楽コンクール

小学校Aの部	本渡南小学校	金賞	最優秀賞	九州大会推薦
中学校Aの部	本渡中学校	金賞	最優秀賞	九州大会推薦
中学校Aの部	五和中学校	銀賞	南九州大会推薦	
中学校Bの部	牛深中学校	金賞		

九州吹奏楽コンクール

小学校の部	本渡南小学校	金賞	
中学校の部	本渡中学校	金賞	全国大会推薦

南九州大会

中学校の部	五和中学校	銀賞
-------	-------	----

全日本吹奏楽コンクール

中学校の部	本渡中学校	銀賞
-------	-------	----

RKK器楽合奏コンクール

小学校Aの部	志岐小学校	金賞	
小学校Bの部	本渡南小学校	金賞	最優秀賞
小学校Bの部	五和小学校	金賞	
小学校Cの部	富岡小学校	金賞	
中学校Aの部	五和中学校	金賞	審査員奨励賞
中学校Aの部	本渡中学校	金賞	
中学校Bの部	新和中学校	金賞	最優秀賞

九州アンサンブルコンテスト熊本支部予選

中学校の部	本渡中学校金管8重奏	金賞	
中学校の部	本渡中学校木管打楽器8重奏	金賞	九州大会推薦
中学校の部	五和中学校金管3重奏	金賞	
小学校の部	本渡南小学校金管9重奏	金賞	
小学校の部	本渡南小学校木管打楽器9重奏	金賞	九州大会推薦